

2019年3月8日  
商工中金

## 商工中金と南日本銀行が連携し、再生ステージからの脱却を図る 共同組海運株式会社を金融面からサポート！

商工中金は、厳しい経営環境の中、業績の改善に取り組む中小企業の皆さまを、地域金融機関や他の関係機関等と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（鹿児島支店）は、共同組海運株式会社（本社：鹿児島県鹿児島市、代表者：牛田 篤志氏）に対し、南日本銀行と協調して、民事再生債務のリファイナンス資金 3 億円のうち 2 億円を融資しました。

共同組海運株式会社は、鹿児島県の本土と奄美群島を結ぶ内航海運業者です。離島で必要とされる生活関連物資や建設資材などの運搬を行い、島民のライフラインを支え続けてきました。同社は燃料高騰などの影響を受けて、事業の縮小を余儀なくされ、2013 年 5 月に民事再生を申立てました。その後、再生計画の認可を受け、経営改善に取り組んだ結果、2017 年 5 月に民事再生手続き終結の決定を受けました。

今回、同社は、将来想定される設備投資を円滑に進めるため、既存の民事再生債務のリファイナンスによる金融取引の正常化を計画しました。

商工中金は、同社の取組みが島民のライフラインとして地域経済に必要なものと判断し、同社の課題やニーズを共有する V レポート（※）を活用した事業性評価を実施したうえで、南日本銀行と協調して必要資金を融資しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な企業の事業再生を、地域金融機関や関係機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

### 【共同組海運株式会社の概要】

所在地	鹿児島県鹿児島市谷山港 1-16	資本金	8 千 5 百万円
代表者	牛田 篤志	従業員数	59 名（2019 年 2 月現在）
業種	沿海貨物海運業	設立	1950 年 10 月

（※）V レポート（Value up レポート）：お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール。